

## シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会情報学演習(3) (8)	2020	通年	火4	文学部,社会学専攻, 社会情報学専攻(情報 コミュニケーション コース),社会情 報学専攻(図書館情 報学コース)	塚田 修一	3年次配 当	4

## 履修条件・関連科目等

## 授業で使用する言語

## 授業で使用する言語(その他の言語名)

## 授業の概要

本ゼミでは、担当教員の専門である、①都市空間と文化、②文化とメディア・コミュニケーションがカバーする(あるいは重なる)領域を扱います。

特に、都市空間をフィールドとして、都市と人との関わりや都市政策、都市における文化現象やメディア・コミュニケーションの様相などを考察していきます。

基本的には、①文献購読を通して(社会学・社会情報学の基礎も含む)メディア論を中心に理論的な枠組みを身に付ける、②フィールドワークをベースに都市、文化、メディアやコミュニケーションについて調査・分析する、③ゼミ論、卒論に向けての研究報告する、ことを中心に進めます。

夏休みには合宿を行い集中的に討論し、年度末にはゼミ論集を刊行します。

## 科目目的

3年生はゼミ論、4年生は卒論作成を通して、メディア社会についての分析・考察を深める。

## 到達目標

## 授業計画と内容

## 【前期】

1. イントロダクション
2. 研究デザインについて
3. メディア文化についての事例報告
4. メディア文化についての文献・論文紹介
5. メディア文化についてのフィールドワーク
6. メディア文化についてのデータ整理
7. メディア文化についてのプレゼンテーション
8. メディア文化についてのディスカッション
9. 都市についての事例報告
10. 都市についての文献・論文紹介
11. 都市についてのフィールドワーク
12. 都市についてのデータ整理
13. 都市についてのプレゼンテーション
14. 都市についてのディスカッション

## 【後期】

1. イントロダクション
2. 論文執筆について
3. 都市文化についての事例報告
4. 都市文化についての文献・論文紹介
5. 都市文化についてのフィールドワーク
6. 都市文化についてのデータ整理
7. 都市文化についてのプレゼンテーション
8. 都市文化についてのディスカッション
9. コミュニケーションについての事例報告
10. コミュニケーションについての文献・論文紹介
11. コミュニケーションについてのフィールドワーク
12. コミュニケーションについてのデータ整理
13. コミュニケーションについてのプレゼンテーション
14. コミュニケーションについてのディスカッション

## 授業時間外の学修の内容

## 授業時間外の学修の内容(その他の内容等)

フィールドワークやその成果の分析、ディスカッション・プレゼンテーションの準備などを事前(週2時間を目安)に行っておくこと。

また夏期間中に研究成果を発表するためインカレ合宿を行います。前期ゼミ終了後にそれに向けての準備も行なっておくこと。

---

**授業時間外の学修に必要な時間数/週**

---

**成績評価の方法・基準**

---

**成績評価の方法・基準（備考）**

---

平常点（ゼミへの参加度）：50%

成果物：50%

なお、4年生以上で履修する社会情報学演習（8）は卒業論文あるいは卒業研究論文の合格をもって単位が与えられます。この点くれぐれもご注意ください。

**課題や試験のフィードバック方法**

---

**課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）**

---

**アクティブ・ラーニングの実施内容**

---

**アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）**

---

**授業におけるICTの活用方法**

---

**授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）**

---

**実務経験のある教員による授業**

---

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

---

**テキスト・参考文献等**

---

演習開始時に相談の上、決定します。

**その他特記事項**

---

ゼミの人数、進行状況に応じてシラバスの内容・順序を調整することがある。

**参考URL**

---

**コメント1**

---

**コメント2**

---

**コメント3**

---

**コメント4**

---